

## 年次研修者振り返り

2年次 社会科（地理歴史） 奥田 雅大

1年次の反省点として、生徒に対して十分な動機づけを行うことができず、生徒がもっている「社会科＝暗記」のイメージを変えることができなかった。その要因として、主に2点あると考える。1点目は、生徒が「考えたい」「解きたい」と思うような問いや課題を作ることができなかったことである。特に、単元や授業の問いに対して、資料を比較・検討することで答えを出すような授業を実施するにあたり、社会科の膨大な知識の精選や問いと課題に取り組むうえで必要となる諸資料の準備に時間がかかった。2点目は、定期考査の問題形式である。知識の暗記がメインとなり、考える問題が少なかつたため、生徒の自宅学習等が暗記に終始してしまった。

2年次研修は、以上の1年次研修の反省点を踏まえて授業を構想した。まず、今年度は単元の目標・時間数・学習内容を一覧にした振り返りシートを配布し、単元が終わるごとにその単元を通貫した問いのまとめを記入する活動を行った。また、日本史Aにおいては、単元の振り返りシートとは別に、毎時の振り返りシートも用意し、授業の感想や質問等を授業の終わりに記入させた。この取組を通して、昨年度より生徒の授業への参加態度が積極的になったように感じた。また、授業では最小限の知識の伝達に努めたが、振り返りシートで質問を受け付けたことから、教員が伝えなかった知識などを生徒が質問するようになり、生徒が興味をもった状態でさらなる情報の伝達を行うことができた。一方で、毎時の振り返りシートにフィードバックをする難しさも感じた。特に、担任業務と並行して教材の準備とフィードバックを両立させることには、時間的余裕がなく、フィードバックの良さはあるものの、持続可能な取組みではなかった。次に、昨年度より授業で扱う資料の量を増やした。教科書・資料集だけでなく、一般書や新書、専門書、新聞などを参考にして、より生徒が「考えてみたい」と思えるような資料を探したが、準備不足もあり、生徒に興味を持たせることができなかった。

2年次の反省点として、生徒が興味をもつ資料の準備に対して、想定していたよりも時間がかかったことがあげられる。それを改善するために、日ごろから新書や一般書、専門書などを読んだり、研究会などに積極的に参加したり、最新の歴史研究をリサーチしたりして、資料の収集に励んでいきたい。

振り返りシートによる毎時のフィードバックに関して、生徒が能動的・主体的に活動する時間を増やす観点からも、振り返りシートは引き続き活用していきたい。また、フィードバックに関しても、コメントの返し方や評価のポイントを設定し、生徒に示しておくことで、より有意義なものにしていきたい。